

## 開催のご挨拶

第一回「多職種症例検討会」統括者  
JECCS 業務執行理事 齋藤 隆晴

この度、第一回「多職種症例検討会」を2022年10月30日（日）、オンラインリアルタイム方式で開催することになりました。

我が国の喫緊の課題の一つである高齢者の慢性心不全患者の対策には、患者の生活の中で、それぞれの専門職が関わって相談・指導する、チーム連携姿勢を実践できる各専門職が重要になります。そのためには、各専門職が臨床推論力を身に付け、チーム内で専門的視点に基づいた意見を共有できる、「専門性をしっかり踏まえ、心情として患者に寄り添う姿勢」を持った専門職が必要です。

ジェックスでは設立当初から「21世紀はチーム医療の時代」という認識で、2000年から「循環器専門ナース研修」を開催してきました。目標は自己研鑽を続け、周囲や若い人たちを教育し、積極的にチーム医療に参加していくことができる専門知識を持ったナースの養成です。2018年からは、同じように「薬剤師のための医学講座」を開催。長年継続開催してきた「JECCS 夏季セミナー」については2019年で一旦終了し、2020年度に「多職種による症例検討会」を新たに企画しましたが、コロナ禍の影響で断念。今回ようやく一般的になった Web 研修というスタイルを用いて、「多職種症例検討会」として開催する運びとなりました。

本検討会では、看護師が提示する症例に対し、多職種（薬剤師・看護師・管理栄養士）が5つのグループに分かれて議論し、発表するスタイルを企画しました。薬剤師がファシリテーターをつとめ進行し、議論の合間に、ジェックス医師による臨床推論に関する「ミニレクチャー」を行い、医師の考え方などを紹介します。ディスカッションでは参加者各々が発言することで、それぞれの専門職の視点や考え方、役割、現状などを知ることができます。一方では自分との違いなどもわかり、相互理解が深まると思われれます。

この企画が「何かこの会は面白い」と気楽に参加できる多職種の集まりの場になり、同じ考えを持ち、共感できる仲間づくりの場になることを期待しています。皆さんの積極的な参加と活発な議論をお願いいたします。

2022年10月